



### 官民連携で水害に強いまちづくり

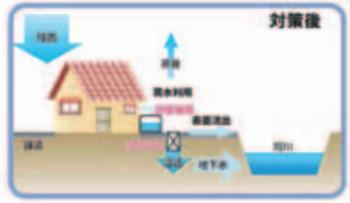
徳田 修和 議員

**問** 見次地区の雨水対策の進捗と今後の計画はどうか。

**答** 現在、排水路や雨水簡易ポンプ場の整備を計画している。また、国道223号の見次交差点から国道10号までの区間でバリアフリー化工事が計画されており、あわせて、見次地区の浸水対策に効果的な計画はできないかと県と協議している。

**問** 計画実行のための予算確保はできるのか。

**答** 雨水総合管理計画を策定したことにより、下水道事業の雨水対策として国の交付金を活用することが可能となった。財政計画も順次立てており、計画的に対応できる



詳しくはこちら

ものと考えている。

**問** 雨水貯留施設の設置に対して市が助成をし、地域全体の雨水排水量をコントロールする施策を講じるべきではないか。

**答** 水害に対する防災意識の醸成や浸水軽減対策にも効果があると考える。先進事例等を調査研究していく。



### 市民目線の市政を実現できているか

飯屋 国治 議員

**問** 広大な面積を有する霧島市において、地域の実情に応じた市政をどのような視点で進めてきたか。また、地域政策の今後の課題をどのように考えているか。

**答** 地域の課題は、広く市民の皆様の声に耳を傾けながら柔軟かつ積極的に、その解消に向けて取り組んできた。今後は、地域自らがその活性化に取り組むことができる環境づくりの推進に努め、公共施設や空き家・空き店舗などを活用したまちづくりの施策などに積極的に取り組んでいきたい。

**問** 自治コミュニティ存続の支援策はあるか

**答** 調査研究を重ねてきたが、現時点では合併の必要性が生じた場合、『地域まちづくり計画』に明記するよう同協議会に提案するとともに、地区ごとに個別の支援をしていくこととしている。

**問** 平成30年7月に自治公民館連絡協議会から自治会合併への支援策の要望書が提出されているが、その後の検討の経緯と結果はどうか。

**答** 調査研究を重ねてきたが、現時点では合併の必要性が生じた場合、『地域まちづくり計画』に明記するよう同協議会に提案するとともに、地区ごとに個別の支援をしていくこととしている。

詳しくはこちら



### 温室効果ガスの削減を

山口 仁美 議員

**問** ごみ処理による温室効果ガスの割合が多い。敷根清掃センター建て替えの際には、削減効果の大きい設備にすべきではないか。また、ゼロカーボンシティ宣言などの考えはないか。

**答** 学校教育活動には大きな制限を受けているが、学校にとってはこれまでを見直す良い機会にもなっている。児童生徒の成長にとって真に必要な教育活動は、感染症対策を徹底し、これまでとは違った発想で工夫し実施していく。

**問** 重要な項目と捉えている。予定しているストーカ炉の削減効果は高い。より一層の削減に向けて努力する。市と市民・事業者が一体となるための普及啓発を宣言を含めて研究していく。

**問** より一層の学校と社会とのつながりの構築を

**答** 情報発信とデザインについて

**問** コロナ禍で学校行事等が中止になっている。社会と繋がる協働的な学びの場をどのように構築



職業体験の様子

詳しくはこちら



### 新型コロナウイルス感染症に伴う支援策は

有村 隆志 議員

**問** これまでの支援策はどのようなものがあったか。また、新たな支援策は出せないか。

**答** 厳しい経営状況にある飲食店等の資金繰り等を支援する「飲食店エールプロジェクト」、事業の継続の困難になった中小企業者や肉用牛農家等を支援する「事業継続支援給付金」、ホテル、旅館を支援する「いざ霧島3万人キャンペーン」や修学旅行助成を実施している。今後は、プレミアム付商品券事業を実施し、市内の消費を喚起していく。また、国や県の経済対策の動向に注視して、疲弊した地域経済の活性化に向け、各種団体と協力して必要な対策を講じていく。



**問** 早急な安全対策を

**答** 地域から要望を受け県と協議し、落石対策の可否についても検討していく。

その他の質問

・消防車両等の廃車について

詳しくはこちら



### 自治会等への補助金制度は

下深迫 孝二 議員

**問** 地区自治公民館および自治会に対する補助金制度は、どのようなものがあるか。また、拡充された補助金制度はあるか。

**答** 霧島市地域振興補助金は、集会施設の新築・修繕の経費等やスポーツ施設整備及び簡易給水施設整備事業・集落の共同墓地環境整備事業・コミュニティの無線有線放送施設整備事業等の事業がある。平成24年に簡易給水施設では、一部の地域の補助率を引き上げたほか、令和2年度には、一定の条件において、受益者負担額の上限を設定した。

**問** ブロイラー農場はいくつか。また、農場に対する指導はどのようにしているのか。

**答** 本市にあるブロイラー農場は、令和元年統計調査によると61農場である。指導については、家畜の飼養に係る衛生管理が適切に行われるよう文書で注意喚起を行っている。苦情等があった場合は、始良伊佐地域振興局をはじめ保健衛生所と連携し農場現地調査をして指導助言を行っている。

詳しくはこちら

詳しくはこちら



## 第2回臨時会ではこんなことが決まりました。

議案番号	議案の件名	議決結果	
報告第10号	専決処分した事件の報告について（令和2年度霧島市一般会計補正予算（第6号）の専決処分について） 補正額 3億4,113万円 6月末からの大雨の影響により被災した農地農業用施設、林業施設、土木施設等の復旧のうち、特に急を要するものについて、早急に対策を講じるための経費	承認	全会一致
議案第54号	令和2年度霧島市一般会計補正予算（第7号）について 補正額 15億2,800万5千円 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対応策第6弾などの経費	原案可決	全会一致
議案第55号	令和2年度霧島市病院事業会計補正予算（第2号）について 補正額 2,860万円 医師会医療センターにおいて、新型コロナウイルスを含む感染症にあたる医療従事者の安全を確保するため、必要な機器を整備する経費	原案可決	全会一致